

令和 6 年度 第 1 回資料館学芸委員会

開催日時	令和 6 年 7 月 30 日（火） 開会時刻 午前 9 時 30 分 閉会時刻 午前 11 時
開催場所	丸亀市立資料館 2 階ギャラリー
出席者	出席 学芸委員 田中 健二 委員長 川元 紀恵 副委員長 信原 清 委員 泉 政博 委員 杉尾 潤子 委員 事務局 教育長 末澤 康彦 教育部長 窪田 徹也 文化財保存活用課長 東 信男 資料館長 大北 知美 香川 章栄 滝澤 和湖
議 題	(1) 令和 5 年度資料館事業報告について (2) 令和 6 年度資料館事業について (3) 城内施設と連携した資料館事業の運営 (4) その他
傍聴者	無

なお、昨年度は2回の企画展で、資料や作品などの解説を行うギャラリートークを行いました。

企画展の合計入場者数は 10,353 人となりました。

次に資料の【2 階 常設展示室】の展示状況をご覧ください。

常設展として「生駒・山崎・京極の歴史と文化展」を開催し、城郭資料館としての機能を果たしました。常設展示室の入場者は 12,350 人でした。

また常設展示室では、部分的に資料の入れ替えを行い、昨年度は、4 回の展示替えをしました。それぞれのコーナー展示は資料の通りです。

続きまして【1 階ロビーと屋外民具展示場】の展示状況です。

ロビーでは、通年展示している変り兜のほか、4 月 1 日から 5 月 4 日まで、城西小学校 4 年生が校外学習で、石垣復旧工事の現場や丸亀城の歴史について学んだ内容をまとめた「令和 4 年度城西小 4 年生 校外学習成果の展示」を行いました。また、7 月 15 日から 9 月 10 日までは、先ほどお話しした切り絵作品の展示を行いました。

なお、民具展示場については、資料館照明改修工事で休館中に、全面展示替えを行い、衣に関する展示コーナーを充実させました。

資料には【参考】として、令和 2 年度からの入館者数の推移を記載しております。

こちらには、講演会や関連行事の参加者も含んでおります。令和 5 年度の資料館の総入館者数は 22,703 人で、令和 4 年度と比べて 4,344 人減少しましたが、これは主に、資料館照明改修工事のため、12 月 1 日より 2 月末日まで 3 カ月休館したことに起因するものと思われます。

ここで工事について少し説明しておきます。工事では、館内の照明をすべて LED に改修し、常設展示室と企画展示室の照明はすべて調光機能を付けました。このことにより、資料に適した照明を行えるようになりました。また、休館中の 3 カ月を利用し、資料整理や収蔵庫の整理を集中的に行いました。

次の頁をご覧ください。

【資料館資料整備状況】について説明します。

収蔵資料は、令和 5 年度末で 182 点増加し、39,354 点となりました。新しく収蔵された主な寄贈資料は、田中益親筆四季耕作図屏風、和田邦坊の版画うちわなどです。

	購入した資料は、京極家^{ととけ}家臣である百々家の古文書です。今後、新収蔵資料については展覧会で公開するなど、有効に活用してまいります。 最後に【資料の特別利用・レファレンス件数】についてです。 資料の閲覧、撮影、複写、貸出など特別利用は 52 件、問い合わせに対する回答は、109 件、合計 161 件でした。 郷土史に関する問い合わせ内容は、多岐にわたり時間もかかることから苦慮しているところです。しかしながら、一般の方の郷土史学習を補佐することは大切な業務ですので、今後も丁寧に対応してまいりたいと思います。 以上で報告を終わります。
委員長	ありがとうございました。議題(1)「令和 5 年度資料館事業報告について」の説明をいただきましたが、委員の皆様何かご質問はございますでしょうか。 【質問なし】
委員長	では、私の方から一言。LED に交換したということですが、博物館・資料館としてはどういうメリットがありますか。
事務局	まず、省エネにつながるということで、電気代が安くなるというところがあります。あと、これまでのハロゲンランプでしたら、クールハロゲンという熱を持たないランプでも熱かったのですが、LED に関しては、熱さがあまりないというところです。
委員長	それはありますね。
事務局	それと、紫外線がほとんど出ないので、資料に対しても、退色が進まないということが研究成果でも出ています。
委員長	大事なことですね。やはり、展示品は実物をみたいですね。レプリカばかりだと残念な気がします。しかし、紙の物は光が強いと焼けますからね。 いかがですか。何か気になることはございませんか。
委員	私は商工会議所に関係しているのですが、資料館は商工会議所の会報に使用している村上泰郎先生という教師をされていた方の、昭和 40 年前後くらいから 47、8 年頃のスケッチを所蔵してますよね。

事務局	大体 500 点以上あります。
委員	それを資料館が持っておられまして、その中から特徴的なものを探し出して、町の変化を今の写真と比べて当時の思い出を書いています。2年くらいでやめようと思っていたのですが、会報を見ている方からの評判もよいのでやめられなくて。資料館の人たちに協力をしてもらっており、非常に助かっています。
委員長	ありがとうございます。地域に即した資料というのは面白いですね。
委員	特に、旧丸亀港付近の船を繋いでいたり、今の駅の近くまで港があった時の家とか、そのあたりをスケッチと今の写真を比べるとすっかり変わってしまいました。
委員長	雑談になってしまうのですが、今日急ぎ企画展の方をざっと見せて頂きましたが、写真資料が面白いですね。「これは今のどこかな？」と考えさせられます。今の風景写真と並べてもらえたら場所が分かるんですが。写真だけでは、今の場所が分からないところがありますね。 いかがでしょうか。他になければ、議題(1)については以上とさせていただきます。 続いて、議題（２）「令和５年度 資料館事業について」をご説明お願いいたします。
事務局	それでは議題第２号、令和６年度 資料館事業について説明いたします。３ページ目の資料をご覧ください。 まず、５月３日、４日のお城まつりでは、丸亀市文化協会主催の市民展（書道）を開催し、640 人の入場者となりました。次に、資料館主催の企画展ですが、こちらのチラシをご覧ください。７月１３日より、「わたしたちのまちの明治・大正・昭和 -資料でみる丸亀の近代-」を開催しており、会期は９月１日までとなっております。本展は、７月から始まった城泊の舞台となる延寿閣別館に関係した資料を公開し、城泊事業を盛り上げます。また、延寿閣別館と同時代の丸亀にスポットを当て、激的変化を遂げた近代の丸亀をご紹介します。会期中には２回、担当者による展示解説を行います。 次に、１０月１２日から１１月１７日までは、「ニッカリ青江公開展 かがやく日本刀の饗宴」と題して、京極家の名刀ニッカリ青江を３年ぶりに公開し

	ます。併せて、日本美術刀剣保存協会四国讃岐支部会員の所蔵する様々な時代や産地の名刀や、刀装具の名品を展示いたします。 観覧料は一般 700 円、うち 100 円は石垣復旧応援募金に充てる予定です。 会期中には、日本刀入門講座など、さまざまなイベントを予定しております。 令和 6 年度の資料館事業については以上です。
委員長	ありがとうございました。委員の皆様方のご意見等がありますか。
委員	些末なことですが、開催期間はすべて令和 6 年でしょうか。
事務局	申し訳ございません、令和 5 年となっております。すべて令和 6 年度開催です。資料の訂正をお願い致します。
委員長	私からよろしいでしょうか。県の資料館事業に関わってくることなのですが、県で広報の方を尋ねてみました。メディア向けのチラシなどのご案内の方法についてです。県の場合はどのようにするかを聞いたところ、県庁に記者室があるんですね。そこに新聞社なら新聞社、テレビならテレビと置く場所が決まっていて、自由に置いていいことになっているから、そこにチラシを持って行って入れるみたいです。それを記者の人たちが見て、「これ取材に行こうか。」と決めるみたいです。 どうやって広報をやっているのかと思っていたのですが、記者室でとりまとめていたんですね。丸亀市も記者室があるのですか。
事務局	丸亀市にも記者室があります。月に 1 回定例記者会見があるのですが、大きな展示の場合であれば、前もって予約をしておいて、そこで発表をします。それ以外は、投げ込みという形で広報の方が窓口となり、資料を提供すると、記者の方たちに配ってもらえるという形になっています。
委員長	これはかなり有効ですよ。また、テレビに出ると、お客さんが増えるといっていました。色々な広報の仕方がありますし、市のホームページとかいろいろありますが、テレビで見たっていうのが強いみたいですね。 他に、何かご発言がありましたらお願いします。
委員	今展示している中で、古い写真が多く展示されていますけれど、塩飽諸島のものがあまりないと思いました。展示物の表の中に、明治初期の丸亀

	の学校の欄があり、その中に本島の学校のことがありましたね。その中で塩飽小学校の人数が一番多いことに気づきました。しかし、あれは本島だけの小学生なのか、それとも広島とか他の島も集まった全体の人数なのかわからなかったのですが。
事務局	その質問は、あとから展示担当者に聞いておきます。
委員長	香川県史編さんの時も、丸亀市史の編さん時も同じような話がありまして。香川県の歴史を書くときには島の歴史を必ず書くようにと言われました。忘れたらいけませんよと。島の歴史のところは、必ず触れるようにと言われました。 (2) の議題は以上でよろしいでしょうか。 (3) の議題は特に資料等はございませんね。それでは、(3)「城内施設と連携した資料館事業の運営」の説明を事務局からお願いいたします。
事務局	議題第 3 号、「城内施設と連携した資料館事業の運営」についてご説明させていただきます。 本市では、7 月より延寿閣別館を宿泊施設とした「城泊」がスタートしました。近年、全国では、文化財を持続可能な形で保存・活用する取り組みが進められています。このように、城内の延寿閣別館の活用が新たに注目されることにより、観光や地域振興などへの貢献が期待されております。 そこで、当館においても、こうした時代の要請に対応した運営を考える時期であると感じております。 城内にある天守、大手一の門、石垣復旧 PR 館などの各施設とどのような形で連携すればさらなる観光誘致につながるのか、また歴史的遺産を保存と活用という目標を掲げて、いかに進めていけば双方が成り立つのかを踏まえた上で、将来の資料館のあり方や事業展開について委員の皆様にご意見を頂きたいと思っております。
委員長	今日まで知らなかったのですが、延寿閣は取り壊されているのですね。
事務局	延寿閣は取り壊していますが、延寿閣別館は昨年修理しました。
委員長	元の建物があるとばかり思っていました。延寿閣別館は、東京から移築したもののですね。だから別館というのですね。 今石垣の修復をしているところに展示施設がありますね。

事務局	石垣復旧 PR 館でしょうか。
委員長	そうですね。
事務局	工事の状況とかを、パネルで紹介している施設です。
委員長	あの中は見たことないですね。また見せていただきます。 委員の皆様行ったことありますか。
委員	行ったことあります。
委員長	どういう印象でしたか。
委員	工事の様子があつたり、子どもさんが石垣を実際に積んで体験できるものがあつたりしました。施設的には、さっと見て、さっと帰るという印象だったので、もう少し整備したらお客さんが来るのかなと思いました。 今年も大きな展覧会をするようですので、「石垣復興のために、みなさんのお力を」みたいな PR ができたらいいなと思います。前のニッカリ青江の展示の時に、随分寄付が集まったと聞いておりますし、ニッカリ青江のファンの方もたくさん来て、寄付してくださったそうなので、今年もよい機会にできたらいいなと思います。
委員長	確かに、今のご意見の通りですね。色々な機会を捉えて、「こういうところがありますよ」とアピールしたらどうでしょうか。特別展や企画展の案内板だけでもこちらにありますよと。天守の他にも、関連施設がありますという形でパネル 1 枚でもいいから出しておいたらいいのではないのでしょうか。
委員	前のニッカリ青江の展覧会の時に、スマホで読み取って音声で丸亀を案内するガイドがありましたが、そういうものは今回ありますか。
事務局	今回は声優側の事情により音声ガイドはありません。
委員	前はみなさんがスマホを持って歩いていたから、そのルートの中に資料館や PR 館があつたと思います。今回はないのですね。
事務局	城泊事業に合わせて、城内の天守や大手門を含めて公開活用していこう

	ということで連携をとりました。4月から天守の入場料を値上げしましたが、その分新しく展示の見どころを増やして、天守のパフレットも刷新しました。また、観光協会が作成している丸亀城のパフレットには、PR館を含めて書いておりますので、城全体を回っていただけるような情報提供はできるようになったかなと思います。 PR館の方ですが、今まで1か月に1回情報更新をしたり、ビデオを見ていただいたりしています。パネル展はなかなか変えることができませんが、崩れた状況や、分かった状況を載せています。最近、体験の方を重視しようということで、さっき話にも上がりました石垣を積み込む体験があったり、AR・VRでお城に行ったりするなどの体験もあり、子どもさんが夏休みには体験に来ていただいたりすることはあります。
委員長	夏休み入ってしまいましたからね。なかなか難しいけれど、小学生・中学生に来てもらえたらありがたいですね。せっかくの機会だし、石垣の復興は今後も続いていきますから。PR館があるなら、小学校・中学校に見学に来てもらうことを企画すればいいと思います。
事務局	それについては、城づくり石垣プロジェクトという教育長が唱えられた事業がありまして、市内の文化財を見て回るということで、今年全中学校1年生の子どもたちを対象に、お城に来ていただく予定です。その時には、復旧現場とか天守を見て頂くような形で進めているところです。
委員長	もう取り組みをされているのですね。これが大変な事業だということが分かります。他にご意見はございませんでしょうか。 【意見なし】
事務局	それでは、議題（3）はこれくらいにしましょうか。何かありましたらおっしゃってください。（4）「その他」について何かありますでしょうか。それでは事務局の方お願い致します。
事務局	今年度の学習会についてお話ししたいと思います。
委員長	学習会については、委員の皆様の中からどなたか講師を務めていただくという形にしていますが、いかがでしょうか。前回は私が担当致しました。 【立候補者なし】

委員長	事務局の方で何か提案はありませんか。
事務局	今回、名刀ニッカリ青江を展示しますので、委員の皆様には、内覧会として休館日に見学にお越しいただき、事務局の方で解説をさせていただきたいと思います。それを学習会にするのはいかがでしょうか。 【全会一致で賛成】
委員長	刀は誰かが解説してくれる人がいないと、種類もたくさんあるので鑑賞が難しいですね。詳しい解説を聞きたいですね。
委員	ニッカリ青江を一度見たことがあります。脇指は長いイメージがありましたが意外と短かったですね。磨り上げて短くなったのですね。
委員長	お手数をおかけしますが、手配の方をよろしくお願いします。
事務局	分かりました。それでは、日程調整をしてまたご連絡させていただきます。
委員長	以上で、委員会の方を終わりたいと思います。そのほかに特にございませんでしょうか。ご協力ありがとうございました。
事務局	以上をもちまして、本日の会議は閉会といたします。委員の皆様、どうもありがとうございました。 事務連絡として、報酬と交通費については後日お届けいただいております口座に振り込みいたします。 このあと、1階企画展示室にて開催中の展覧会、「わたしたちのまちの明治・大正・昭和 -資料でみる丸亀の近代-」をご案内いたします。担当者による解説もございますので、お時間の許す限りお楽しみください。